

第3期 熱海市図書館協議会 第4回会議録

開催日時 令和4年7月13日(水) 午後3時
開催場所 熱海市立図書館5階第1会議室
出席者 【出席委員】 太田委員・山口委員・小澤委員・石橋委員・関口委員・春日委員
【事務局】 図書館長・図書館管理室長・図書館管理室主幹

会議内容

(室長)

皆さんこんにちは。本日はお忙しいところお集まりいただきましてありがとうございます。定刻になりましたので、●●委員がまだですがただいまより、令和4年度第1回図書館協議会を始めさせていただきます。初めに会長よりご挨拶をお願いいたします。

(会長)

皆さんお久しぶりです。我々、任期が2年ですので、最終年度に入ったということになるので、簡単に昨年度を振り返りますと、昨年度は、6月と11月、1月に、開催しましたが、1回は自己紹介だけでしたから、実質年間2回という開催回数ですよ。2回の会議の中で、館長の●●さんに、図書館と学校との連携という提言を出しました。

今年度の年間計画としては、図書館と学校との連携ということで学校図書館を見学し、昨年同様、今日含めて3回か4回の開催になるのかと。

(館長)

議題①を繰り返させてもらいます。

第2回は学校図書室見学という形で行い、今日を含めまして年間3回か4回というような計画を立てておりますが、今、ご存知の通り、コロナの第7波で、学校閉鎖までいきませんが、学校によっては学級閉鎖というような状況もあります。2学期に入りまして、コロナの感染状況にもよりますが訪問が実現するか、ちょっと難しい点もございます。会長から言われた通り年間3回から4回を指して頑張っていきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

2学期が始まりましたら、第一小、熱海中など学校側の予定を確認した上で、協議会として、学校図書室見学を行います。

第2回の開催日はメールにて各委員へお知らせいたします。10月頃になるかと思っております。

予定では、中学校1校小学校1校を視察した後、戻って図書館で検討会を実施するか、その学校

の部屋を借りて検討会を実施するかは当日の流れで決めさせていただきます。

(会長)

できれば校長さんにあいたいですね。

(館長)

校長も会議等いろいろと忙しく、確認をいたします。

続いて、議題②図書館方針実行プランの修正について説明したいと思います。

今回の変更点です。

答申を受けて実行プランを作成に至ることが一目でわかるような形で編集してあります。

目次をご覧くださいと、基本プランの第1編の第1章は実行プランの作成に関する記載です。第2章は、答申からの記載部分で、図書館の現状が載っております。熱海市は、司書は少ない、貸し出しは少ない、蔵書はあるのに、どうしてだろうというような内容です。その次の第2編第2章のコンセプトに関した課題と、プランの実行時期に関する記載であります。現在を基準値とした場合の目標年度、また目標値を示した上で、どんな事業にするのかを明確にいたしました。短期、短中期、中期、長期計画それぞれに、人数・数値を入れてプランを修正いたしました。

簡単ですが、説明を終わります。

(会長)

今日、これを検討するということですね。

(館長)

去年度に、協議会で検討をいたしました。先ほどの点を修正してありますので、もう一度概略を説明いたします。

17ページのこのレファレンスに関しては、熱海市の図書館ホームページに、「公開レファレンス検索」ができました。

次のブックバスに関しては、市庁舎にステーションが無かったので、4月から開設いたしました。ただ時間帯が悪いもので、もう少し時間帯に関しては来年度変更していきたいなと思っております。図書館に来館しなくてもブックバスへの返却や貸出サービスが提供出来ます。次の18ページに関しては、学校にある子供たちが利用できるタブレットの有効活用です。電子書籍の読書時間ができればいいなというのがこの写真でございます。

そして中期、19ページでございます。

これはデジタル化という形で熱海市の図書館が保存している古い写真とかを、学校で教材とし

て使えないのかなと。学校側が教材となるような資料をまとめ、デジタル化をして活用していく計画です。

真ん中は、●●委員が第2小学校の校外学習での実績を踏まえ、それを発展させて学校・図書館・ボランティア団体の3団体で「熱海の歴史」を子供たちに伝える事業ができればいいなというプランです。

一番下は、図書館のイベント事業の発展形です。●●委員が主催する生涯学習課の寺子屋事業と図書館のコラボを試験的にこの夏に行います。図書館を使った調べもの授業が開催されます。最後に20ページをご覧ください。市民の意見を、熱海市の広報で収集したいというような話になってございます。

そして21ページをご覧ください。中期的なお話になります。先ほど図書館資料を学校教材として使えるように、するにはどうしたらいいかと、学校でどういった資料が必要なのかは、まず一番重要なものがございます。学校と話し合いを十分した上でデジタル化をする。それには予算が必要ですので、これを中期をもっていった理由でございます。

真ん中のレファレンスサービスです。現在司書は4人います。司書を置くだけではなく、司書が経験を積み1人前になるためには年数が必要ですのですぐに異動させることなく、図書館資料についての理解と認識、それが説明できるまで、図書館で経験を積むような体制づくりをしていきます。

(会長)

これがなかなか実現していない。大体3年ぐらいに部署が変わっておりますよね。

(館長)

昨年度まで、新規採用で司書資格を持つ職員は5年図書館に勤務しました。教育長にも司書の育成にご理解をいただきました。今年度は司書採用で、熱海市が司書として2名を採用いたしました。

次は新規に追加した部分です。今熱海市へ移住されてくる方が多い。そういう方への図書館のPR、案内がたりないとの指摘がありまして、新しく移住された方が、図書館を知るための方を今後研究していくようなところでございます。

22ページをご覧ください。これは生涯学習課主催の「市民大学」と図書館主催の「熱海の歴史をひもとく」です。お互いコロナ禍で開催できておりませんが、同じ方向性の講義を実施しております。聞く方の取り合いと言ったらなんですが、お互い同じ方向を向いているならば、連携をしていこうというプランです。

最後に23ページでございます。

これらすべてを、講じた暁には、図書館の利用客や、それらの類するもの図書館が良くなったねと言われるんじゃないかという形で、23ページになってございます。

(会長)

自分が関わっていることで、なんですけど、22ページのところでいえば、図書館主催の講演会でしゃべって、今度1月に市民大学でしゃべるということで、初めて来る方もいらっしゃるの、基本的なことは同じことを2回しゃべるんですよ。だからそこを連携して整理してもらえれば1回で済むし、レベルアップしたお話ができる。

(館長)

今までそういった連携という言葉はありますが、実行できていなかった。それを今回、寺子屋事業と図書館の調べ物事業ができたわけですので、今後こういったものの積み重ねが、市民大学講座と図書館講座もできるはずだと思っています。

(会長)

今の説明を受けまして、●●さんに、他にも広げる可能性があるようなことを含めてお話ししていただけますか。

(委員)

うまくいった経緯というか、塾長が好きなことができる講座なんですね。

ですから、自分の選びたい講師を呼んで、自分が好きなように組み立ててあります。毎年歴史学習をしてと言われているので、自由研究とかいろんなことを調べるのにやはり図書館を活用してですね、さっき職員さんと話したんですが奥付の見方、初めて聞いたので小学生でも知っておく、図書館はこういう使い方あるんだ。だからとてもいい機会だなと思って早速入れさせていただきました。翌日には起雲閣に行きますので、事前学習して、それで壁新聞はつくって、できれば図書館に、できがよければ貼ってもらいたいです。そんな感じでやりたいなと思う。

(委員)

私土曜日学習もやってるんですけど教育委員が全く話を知らず、公民館寺子屋に土曜日学習の教え子が来るって言ったら、教育委員会の先生はどこでやってるのかご存知じゃないっていうのは、ですから、幾らも連携はしようと思えばできると思います。

(会長)

アメリカの話ではなくて小さな熱海市の中で、そんな縦割りになっていて、横側の連携がない。

(館長)

このプランをきっかけに、各委員が主催する事業についてコラボをしていきたいと思います。
図書館がハブとなる事業がどんどん出来るのではないかと思います。

(会長)

●●さんの7月29日は実現第1号ですか。

(委員)

図書館にパッと来た人が窓口で何か聞いたときに、そこがやっぱりなんというか、

(委員)

非常に重要な人の問題だというふうに思います。

(会長)

前の協議会の委員さんからも、今●●委員が言われたことを館長に言われていますか？

(館長)

答申に、熱海市の図書館の顔となるような職員をカウンターに置いてくださいと。だから司書をふやしなさいっていうのがこないだの答申の内容です。そういった窓口には司書が必要。その司書が異動したりするのではなく、何年も実績を積んだ司書が、その窓口を行わなければ、図書館はよくなりません。それもわかっているんですが、現状窓口業務に関しては、ボランティア等にも頼っている状況です。ボランティア教育の徹底も課題です。

(会長)

やっぱりシビアに、やったほうがいいと思います。

熱海市には養成講座がないんです。ある文化施設ですが、だからもうみんな、勝手なことを言う。しかも間違っただけを平気で言っている。それが全くチェックされない。これ大問題でして、せっかく見学に来たのに、説明聞いて腹を立てて帰るっていうことはよくあるので、だから極端ですけど、そういうことがないようにやはりボランティアやりたいってことは、ちょっとハードル上げてですかね。

(館長)

図書館マニュアルはもう作って渡してあるんですけど、それが実行されないので注意をしています。

(会長)

毎年やっぱり繰り返し、繰り返しやる必要があると思うんですね。

(館長)

そのようにしていきたいと思います。

(会長)

その他ついて、●●委員お願いします。

(委員)

熱海市の学校の職員で、それぞれ国語とか算数とか、そういう具合に分かれてその中に学校図書館っていう部会なんですけれども、熱海市立図書館の方に、何年かで1回、いろいろお聞きしたりとかっていうことをしているんですが、今年それをもう一度やろうということで、夏の研修で、熱海市立図書館におじゃまして司書さんの話を聞かせていただきたいなと思っています。で、じっくり選書する時間を取りたいなと思って夏休みそんな研修を考えています。

(委員)

学校に図書館にはこんな本があるよ、みたいなリストがかかっているんですけど、平成24年になっているので、転任した職員はそれがリストがあることも知らないような状態なので、第二小がもしかしたら更新をしてないだけなのかもしれないんですが、すごくいい本が多くて、利用すれば、絶対連携もできるはずなんですけれども、教師の方が多忙理由に、投げかけができないっていうのはすごい残念なので自戒の念を含めて、お話しさせていただきます。すいませんまとまらなくて。

(会長)

やっぱり教科書研究はやないと駄目なんじゃない。つまり、図書館の人が小学校中学校の教科書を図書館に置いて。夏の研修で、教師の方々に司書が説明するときに、ちゃんと皆さんの教科書を把握してますよと言ったらいかがですか。その件も含めまして、なぜ図書館のシステム等が学校図書館と同じシステムをつかっていないんですか、疑問ですね。同じシステムを使ってどこの図書館に何があっていうぐらいなんか、ここからのアクセスで、本が見つけられるようなそういうシステム連携から始めないと。

(委員)

教科書って進むスピードがどの学校も一緒なので、欲しい時期が全部かぶるんです。そういう教科書のものに関しては、できれば学校にあったほうが学校としてはありがたいです。学校図書館の方に図書室でそろえませんか、●●先生に中学校やってる時お願いしたりするんですけど、予算がなくここまでです。ちょっと今年は買えません。ていうのがあって。

とにかく学習の進度って一緒なので、多少何とか融通しずらすことはできなくはないんですが、基本的には必要な時期は一緒って考えていただいた方がいいかなと思います。

(委員)

やはり学校図書館には、もう少しこう読んだときに心が動くとか、何かそういう内部的に、っ
ていうのがあるので

(館長)

図書館でも子供が読みそうな本をピックアップして、ブックバスに載せているんです。

(室長)

実際今夏になってきましたので、多分、子供たちだと、昆虫のこととか動物のこととか、そう
いうことを求めるところが多いですね、図鑑なんか本当に大きいやつでも、2冊ぐらい借りて
いたりするので、また怖い話、昨日なんかも、第二小学校行ったんですが、『ほねほねザウ
ルス』全部借りてく子もいたりし、そういったものを学校に回るときには配架するようにして
います。大人のところに行くときには例えば大活字本を多めに置くとか、ブックバスの配架の
部分を若干変えたりはしてもらっています。

(会長)

ちょっと時間が押してきましたけど、さっきの●●先生の話で、図書館から学校図書室にこう
いろんなメッセージを出すときに、4月は忙しくてということでしたよね。じゃあ、何月ぐら
いに図書館から出すのが効果的なんですか。

(委員)

4月でいいと思うんですよ。そうじゃなくて、資料はもうあるから見てねっていう状態になっ
ていて、4月にそこまでアンテナは入れないけれども

(主幹)

すみません、どんなものが欲しいのか、あると便利なのかを、後ほど具体的に詰めさせてもら
ってもいいですか。

(会長)

その他ついて、館長お願いします。

(館長)

資料をご覧ください。読書をするきっかけとして、7か月健診の時にブックスタート事業(お母
さんに、絵本のプレゼントを実施。セカンドブック事業を小学校1年生の節目に、10冊の本
を紹介して、子供が興味を引いた1冊をプレゼントしています。今年で4年目になりました。こ
ういった事業を着実にやって学校連携を深めております。

自分の本を選ぶだけで終わってしまわないように、次の読書への導きを考えていこうと思っ
ております。

夏休みまた読んでもらうように、1学期中に配布も終わります。事業の報告であります。

(会長)

はい、ありがとうございます。

(室長)

ありがとうございました。今年の協議会の目標、学校連携でございます。

実はブックバスの方も、学校の方、小学校が非常に伸びています。残念ながらちょっと中学校の方は、ゼロが続いたりしているんですが、多分ですね、多分小学校なんかは前年比150%ぐらいいくんじゃないかと思います。年度末期待しておりますので、関係者の皆様には今後ともご協力いただきたいと思います。

ではこれで、委員会の方を閉会したいと思います。暑い中、お疲れ様でございました。またよろしく願いいたします。